

# 図書館だより

Shizuoka Institute of Science and Technology Library

## TOPICS

### 1. SIST 秋の読書キャンペーンを開催



秋の読書週間にちなんだ毎年恒例の「秋の読書キャンペーン」を9月22日～11月9日の期間で開催しました。

今年は学生食堂のご協力のもと、期間中に本を読んで、簡単な感想を記したコメントカードを提出した学生には、学生ホールカフェのドリンク引換券を進呈しました。気軽に参加できる条件にしたこともあり、昨年度よりも参加者が増え、コメントカードの提出23枚、参加者17名という結果でした。

参加した学生の読んだ本は、小説から教養書・学習書まで幅広いものでした。学生にとって少しでも本にふれる機会になってくれたらと、毎年試行錯誤しながら実施しています。

### 2. 秋期文献検索のキホン講座を実施

毎年春・秋に講座形式とオンライン形式で開催しているこの講座。文献の基礎知識やデータベースを使った論文・記事検索など、レポートや卒業研究での論文作成に役立つ内容となっています。

秋期は講座形式で10月31日(火)と11月2日(木)の2回開催し、15名の受講がありました。オンライン形式の受講者は、10月13日～11月16日の期間で16名でした。オンライン形式では受講者が自分のペースで視聴し、練習問題に取り組むことができる、対面の講座はその場で質問ができる、最新の情報を聴くことができるなど、それぞれの良さがあります。

今回は6月頃に開催予定です。これまで受講したことのない方はぜひ受講してみてください。iLearnには開催期間外にも自習できるよう教材を掲載しています。

### 3. LA (Library Associate) 大学祭参加 - しおり制作ワークショップ -



10月22日(土)・23日(日)に開催された大学祭において、しおり制作ワークショップを実施しました。

LA学生が説明役のスタッフとなり、来場者と一緒に牛乳パックを素材にスタンプや色紙、マスキングテープなどで装飾を施し、それぞれオリジナルのしおりを製作しました。コロナ禍による制限がなくなったこともあり、お子さんから大人まで、2日間で47名の参加者がありました。準備してあった材料が不足するほど、多くの方が楽しんでいられました。

\*p.4にはLAの2023年度の活動報告を掲載しています

### 4. 展示資料のご紹介 - 展示架にご注目を-

#### 【土木工学関連図書】

土木工学関連の図書、約180冊が入りました！

水工学、地盤工学、構造、環境、材料、防災など、昨年度設置された土木工学科の関連分野の資料を重点的に購入しています。一部は展示架でご覧いただけます。後期には更に約190冊の購入を予定しており、関連書籍の充実を図っています。



#### 【図書館コンシェルジュ選書図書】

後期図書館コンシェルジュの学生が、それぞれの目線で選んだ本をPOP付きで展示しています。是非ご覧ください。

「ChatGPTと学ぶPython入門」/「モビリティ進化論」  
「新FTA技法」/「世界一流エンジニアの思考法」 など

\*POPのない本もWeb本棚ブログにコメントを掲載  
右のQRコードからアクセスできます



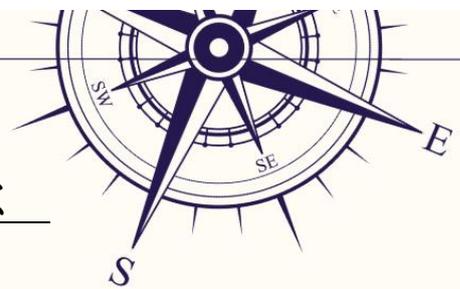
### 5. 冬のイベント を開催！

12月、勉強の合間にゆったりと過ごす時間を提供できたらと、冬の図書館ウイークを開催しました。期間中には、「R.R.R」「ラゲリより愛をこめて」などの映画上映や、クリスマス音楽の演奏を実施。図書館からのクリスマスプレゼントとして、雑誌付録の配布も行いました。今後も気軽に参加できるイベントを企画していきます。

# 読書への羅針盤

紀ノ定 保礼 先生 (情報デザイン学科) に聞く

## 「心理学への道」



今回は情報デザイン学科の紀ノ定先生にお話を伺いました。先生は認知心理学、交通心理学、人間工学を専門としていて、具体的にはアンケートやシミュレーション、実験等を組み合わせ認知のメカニズムを研究されているそうです。

元々は「人はなぜ感動するのか」という問いに強い関心を持ち、3年次より認知心理学の研究室に所属していたそうです。しかし2005年4月25日、JR福知山線脱線事故という凄惨な出来事が起きた事をきっかけに、人々の安全に貢献出来る研究がしたいという事で大学院進学後に専門を変え、安全に関する心理学的研究に着手されたそうです。

そんな先生ですが、少年の頃は自分で推理小説を執筆する程の本好きであり、ミステリーばかりを読まれていたそうです。推理小説ではありませんが、図書館に先生の執筆した『数値シミュレーションで読み解く統計のしくみ』という本があります。この本は統計学をあえて数式をあまり使わずに、プログラミングによって説明するといった内容の本だそうです。既に統計学を理解している人向けという事なので、院生の方や先生方、是非読んでみてください。

また、高校や大学時代に読んだ本の中で強い感動や影響を受けた作品を伺ったところ、同志社大学文化情報学部在籍していた時の学部長、村上征勝先生の『シェークスピアは誰ですか？ 計量文献学の世界』という本を挙げていただきました。元々先生は本が好きだという事で、文学や言語学の研究者を志

望されていたそうです。ところが、受験に失敗し、本意ながら入学した大学で、村上先生の研究を知り、「データサイエンスによって人の理解に迫る」という試みに魅了された事で今に至るそうです。もし受験生時代に戻れたとしても、また同じ大学に入るかもしれないと仰っていました。

最後に本学の学生についての印象を伺いました。講義中の態度は真面目で好印象を抱いている一方、講義後に質問に来る学生や、オフィスアワーの時間に「～に関心があるのでお話を聞かせてくれませんか」と自らの関心を掘り下げようとする学生があまり多くないように思うと仰っていました。「様々な大学で教えてきた経験がありますが、本学のカリキュラムは全国的に見ても高水準だと確信しています。ですがカリキュラムはあくまで学びのきっかけに過ぎず、そこから枝葉を伸ばすのは学生の皆さんです。良い素材が揃っているのだから、それらをめいっばい取り込んでいってください。」との事でした。

インタビューに伺う前は緊張していたのですが、実際に話をするととても話しやすく、また統計学や心理学への熱意が伝わってきて、とても有意義な経験になりました。紀ノ定先生、お忙しいなかたいへん興味深いお話を聞かせて頂き、本当にありがとうございました。

### 【所在】

「シェークスピアは誰ですか？」 西閲覧室 801.6 / Mu43

インタビュー・記事：情報学部1年 竹下冬馬  
池ノ上優月

私の選んだ一冊

### 『コード・ブレーカー ～生命科学革命と人類の未来～』 W・アイザックソン著

その扱いが問題となっている「ゲノム編集」の誕生と、その後の流れについての物語です。当事者への取材に基づき生々しく描かれています。さすが、伝記「スティーブ・ジョブズ」の著者だけに、読みごたえがあります。

### 『若い読者に贈る美しい生物学講義』 更科功著

面白いたとえ話も含めながら、軽妙な語り口で生物学に関するお話をしてくれています。これを読むことで、生物学に興味をもって、好きになる人が増えるかもしれないですね。

### 『サピエンス全史』 『ホモ・デウス』 ユヴァル・ノア・ハラリ著

全てを読むには少し骨が折れるかもしれませんが、この4冊を通して、著者の大胆な見解にも触れながら、ホモ・サピエンスのこれまでと、今後はどこに向かうのかについて、深く考えさせてくれる壮大な内容の本です。

### 『超圧縮地球生物全史』 ヘンリー・ジー著

タイトル通り、地球生命の誕生と絶滅の営みについて描かれています。38億年にわたる膨大な時の流れで生命がどうなってきたか、巧みな表現にも助けられ、そのダイナミックな状況が、意外にすんなりと理解できると思います。詳しい注釈や参考文献も特徴です。

大福弘順 図書館長 推薦図書

館長の本棚「編」

佐藤 健司 先生 (建築学科) の

# 一手指南

推薦図書

## 『隠喩としての建築』 講談社 柄谷行人著

本書には哲学者であり文芸批評家である柄谷行人氏の1981年から82年にかけての論考がまとめられている。建築に携わる身として、とりわけ興味深い論考が、表題になっている「隠喩としての建築」である。ここでの「建築」は、あくまで「隠喩」であって、実際の建築が論じられるわけではない。

プラトンやアリストテレスは、哲学を知の建築たらんとしたとされ、それを柄谷氏は「建築への意思」と呼んでいる。建築への意思は、西洋の知の歴史において綿々と受け継がれ、それが最高潮に達したのが20世紀初頭の数学者ヒルベルトによる「公理主義」であるという。少数の公理から出発して、矛盾のない体系を作り上げることが数学者の使命である。それを「形式主義」と言うし、建築（コンストラクション、構築）への意思でもある。ところが、その目論見はゲーデルの不完全性定理（1931年）によって打ち砕かれてしまった。あらゆる形式的体系が無矛盾であることを、その体系の中では証明できないことが証明されてしまった。建築への意思は不完全であらざるを得ないことが証明されてしまった。

これは、数学における形式主義とその挫折の歴史であり、フォルマリズムに不可避的に内在する問題である。氏は20世紀初頭の科学や芸術、あらゆる知の領域における変革（＝形式化）がパラレルに生じたと論じている。我々は建築史の授業で近代建築の理論を学ぶが、そこで起きたことを数学や哲学、美術も含めた広範なフィールドの中で理解するこ

とが必要であろう。

第2章「自然都市」のなかで建築家・都市計画家クリストファー・アレグザンダーの「都市はツリーではない」（1965年）が考察の対象になっている。

「都市はツリーではない」は押野見邦英氏による翻訳がSD選書にある。アレグザンダーは、ほとんど数学者であって、「都市はツリーではない」は集合論の知識がないと理解が難しい。そのなかでル・コルビュジェや丹下健三の都市計画はツリー構造であり、真の都市にはなり得ないと批判した。その上でセミ・ラティス構造の都市、という概念が提唱されている。柄谷行人は、セミ・ラティス構造といえども、それはツリー構造が重層化したものであり、「自然都市」にはなり得ないとしている。しかし同時に、「建築への意思」が最も徹底しているのはアレグザンダーであると評価している。「彼が、自然都市という多様体を、数学的構造に、すなわち秩序に還元できると考えた」からである。

本書はやや難解な部分もあるが、近代建築の歴史における思想的背景を理解するうえで最適な論考である。あわせて、近代都市計画批判の書であるコーリン・ロウの「コラージュ・シティ」（1978年）も柄谷氏の視点で読み解いてみれば興味深いであろう。そこでの主題は、アレグザンダーに倣った言い方をすれば、「都市計画はエンジニアリングではない」となるだろう。渡辺真理氏による翻訳がSD選書から出ている。

【所蔵】文庫/北 914.6 / Ka63

### 新着図書紹介

アラオの密室  
白川尚史著、宝島社

無礼語辞典  
関根健一著、大修館書店編集部編、大修館書店

Pythonではじめるゲーム制作超入門  
廣瀬豪著、インプレス

サービスVRの挑戦  
バーチャルリアリティからメタバースへ  
廣瀬通孝編、東京大学出版会

タイニーハウス・デザイン  
世界中の洗練された小さな家47選  
リサベイカー著、大久保ゆう訳、グラフィック社

疲労とはなにか すべてはウイルスが知っていた  
(ブルーバックス) 近藤一博著、講談社

きみのお金は誰のため  
ボスが教えてくれた「お金の謎」と「社会のしくみ」  
田内学著、東洋経済新報社

謎の平安前期 (中公新書)  
桓武天皇から「源氏物語」誕生までの200年  
榎村寛之著、中央公論新社

訂正可能性の哲学 (ゲンロン叢書)  
東浩紀著、ゲンロン

世界一流エンジニアの思考法  
牛尾剛著、文藝春秋

新着図書リスト



# 学生サポーターだより

図書館では、学生サポーターとして「コンシェルジュ」「LA（学生選書委員）」  
2つの学生団体が活動しています。

2023年度の図書館と学生の協働の記録を報告します。

読書推進・図書館活性

LA

コンシェルジュ

学修支援

4月  
新入生歓迎会  
選書  
第1回委員会

4月

5月  
前期コンシェルジュ開始  
新入生図書館ガイダンス補助  
新入生向け相談会

5月

6月  
読書会  
(テーマ:私の好きな本)

6月

7月  
実用Python講座  
情報学系資格試験入門講座  
3DCAD対策講座/試験対策相談会

7月

8月  
選書 有志交流会  
第2回委員会

8月

前期選書図書展示

9月  
選書ツアー  
選書

9月

秋の読書キャンペーン

10月  
後期コンシェルジュ開始

10月

11月  
大学祭  
しおり制作ワークショップ

11月

12月  
プログラミング入門  
プレゼン資料講座  
3DCAD対策講座

12月

1月  
図書館冬のイベント  
読書会 (テーマ:心温まる本)

1月

2月  
選書

2月

Excel講座-入門編-  
学習相談会  
後期選書図書展示

2月

図書館だより記事執筆  
6・10・2月号

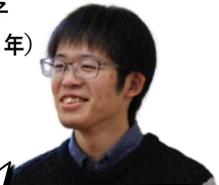
コンシェルジュニュース発行  
5・6・7・11・12・1月

経験や知識を生かし、学生  
向けの様々な講座も開催

大学祭で  
ワークショップを実施



伊藤大登さん  
(電気電子  
工学科4年)



読書が好きなので LA に参加  
しました。活動を通じて先輩・  
後輩との繋がりがや委員長と  
して他団体等との交流を持つ  
ことができ、とても有意義で  
した。読書会では普段読まない  
分野の本の紹介を受けたり、自  
分の想いを言語化したりする  
ことで様々な発見がありましたね。

相談件数とイベント参加  
者を増やすことに苦  
労しましたが、授業時  
に宣伝をすることで、多  
くの参加者を得るこ  
とに成功! 人に教える  
ことが好きなので、イ  
ベント資料の作成にや  
りがいを感じました。  
授業などでわからない  
所を解決するために、  
気軽に相談に来てく  
ださい!



安達佳祐さん  
(システム工学  
専攻2年)



## LIBRARY CALENDAR

■ 開館時間 9:00~18:00

■ 休館日

2月1日~3月31日までの開館時間 9:00~18:00

大学指定休日のため休館: 2月26日, 3月11日, 25日

※開館カレンダーは、状況により変更される場合があります。  
最新の情報は図書館ウェブサイトをご確認ください。

【編集後記】年始早々、心が重くなる辛いニュースが続き、無力感を覚える一  
方で、日常を送れることへの感謝の念を強くしました。防災やリスクマネジメ  
ントへの意識・備えの大切さ、そして「土木」が我々の生活の基盤にあること、  
人材の育成や研究の重みがいよいよ増していることを実感します。

2月						
日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	.	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	.	.
.	.	.	.	.	.	.

3月						
日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	.	.	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	.	.	.	.	.	.

静岡理工科大学図書館報 No.78

2024年2月1日発行

編集・発行: 静岡理工科大学附属図書館 〒437-8555 袋井市豊沢2200-2 E-mail: tosyokan@sist.ac.jp

TEL: 0538-45-0231 FAX: 0538-45-0230 URL: <https://www.sist.ac.jp/about/facility/lib/>